

発行日 2019年3月24日

発行人 通教卒業生支部代表大川成一

## 経済学部同窓会通教卒業生支部通信No.15

### 1 通教生のみなさん 卒業おめでとう御座います

川南卓也（2017年3月通教経済学部卒業生）

2019年3月24日

卒業生のみなさん、卒業おめでとうございます。学位記を手にしたとき、楽しくも苦しい学生生活からの解放感と寂しさが込みあげたと思います。みなさんが卒業を迎えることができたのは、ご自身の努力は勿論ですが、みなさんの学業を支えていたご家族、職場、その他多くの方たちの御陰でもあります。卒業に当たって、先ずは“卒業の恩人”に感謝の気持ちと御礼の言葉を忘れてはならないと思います。

法政大学の経済学部は日本の私立大学としては2番目に設置され、また法政大学通信教育部は日本初の大学通信教育であります。従来の大学通信教育の学習の基本スタイルと言えば、添削レポートと単位修得試験、法政大学の校舎に全国から学生が集まるスクーリングで、試験会場やスクーリング会場で教職員、学友、卒業生などと交流をしながら卒業を目指していました。近年は、東京の法政大学へ行かなくてもインターネットに繋いだパソコンを使って自室で講義が受けられる「メディアスクーリング」が主体になり、学生の属性につきましても、1年生からの入学ではなく、大学・短大や専門学校の学歴を基とした3年への編入生が増え、さらに専門学校生でありながら大学通信教育課程でも学び専門学校と大学の両方の卒業を目指す併修生も見られ、在籍年数が短くなっていると同時に教職員や学友と直接会う機会が少なくなっているのが現状です。学友がいない孤独な環境が続くと学習意欲の低下を招きかねないことから、通教生が自習的に集まって地域学生会を組織・運営していますが、学生会行事の参加対象は在学生に限定せず卒業生も参加できます。卒業後も学生会の行事を通して後輩たちに在学中の経験を伝えますと、さぞ喜ばれると思います。

学問や技術が急速に進展している一方で少子高齢化や地球規模の環境破壊などの深刻な社会問題も押し寄せています。法政大学で経済学の最新理論を身に

付けて卒業した後も、常に勉強を続けねばなりません。この先は、経済学部同窓会の会員のみなさんと一緒に日本や世界の社会経済の課題について考え、在るべき姿についてそれぞれ知恵を出し合っていくべきではないでしょうか。経済学部同窓会は通学課程(昼間部・夜間部)、大学院、通信教育部の出身課程の垣根は存在しません。卒業を機に、歴史と伝統のある法政大学経済学部の同窓会へ入会されるのをお勧めいたします。

最後に法政大学経済学部の卒業生であるという誇りを胸に、素晴らしい人生を送られることを心より祈念いたします。(北海道在住)

## 2 経済学部同窓会への入会のお誘い

—法政大学通信教育卒業生の絆—

大川成一(1978年通教経済学部卒、経済学部同窓会組織部会副会長)

私は、通教生卒業祝賀会に同窓生として毎年参加する機会があります。その際に、卒業生への祝意だけでなく同窓会の役割をスピーチしています。

祝賀会での卒業生の皆様は、勉学生活からの区切りと達成感があると感じます。私は、法政大学の卒業生の一員として、通教生卒業生の皆様方の今後の一層の活躍を期待しています。先生方のスピーチでは「学び直し」ということを強調されていることが印象的でした。まさに「知性は眠りたがる」ことのない、生涯教育の勧めだと感じました。

通信教育での学生は、通学生と異なり社会生活を豊富に経験している人が多くいるので、抽象的な学びでなく実践的な理解ができる強みがあるものと思います。入学の条件が緩やかで「入り易く」、授業料が安いので巷間言われている奨学金問題とはまず無縁です。私自身は、学費を自費で払えたメリットが通信教育の恩恵だと思っています。

法政大学通信教育部での体験で、私は、自主的な勉強スタイルや文書表現力がいくらか身についたものと考えています。何より専攻した「経済学」は、自主学習の柱で、「日本財政」・「少子高齢化」・「格差」などに特殊なテーマに興味を感じて勉強しました。

卒業論文は、貧困問題をテーマに書きましたが、人生上の大きな成果だと感じています。また、炎暑での体育実技(バスケットとハンドボール)やスクーリングでは、校歌にあるように「良き師良き友」との出会いが少なからずあり忘れられません。校歌の作曲家近衛秀麿先生は、自分の出身高校の校歌の作曲家でもあり不思議な縁かと思っています。

ただ、通信教育でのスタイルでは、基本的に個人的な環境に陥りがちです。けれども、卒業後に法政大学経済学部同窓会に入会する機会に恵まれて、地域・年齢・職業などを超越した様々な人との交流ができることは、「人生の潤い」とも実感しています。

それに、経済学部同窓会の活動として、単に会合だけでなく現役学生の支援にも関わり合いを持ち、多摩キャンパスにも足を運び「青春時代」を思い出します。まさに、卒業生という一点で「出身課程の垣根」がない法政大学同窓会へ入会し、実りのある人生を送っています。

同窓会では率直に言って若手不足や会員の高齢化などの課題がありますが、同窓という絆での親和性を直接、感じられます。卒業生の皆様方に、ぜひ経済学部同窓会に入会するようお誘いします。

### 一 昨年同窓会通教支部総会の報告

通教支部同窓会が2017年8月27日(日)、市ヶ谷キャンパス・ボアソナード・タワー25階校友談話室にて3時から開催された。地理的な制約もあり、参加者は関東近辺に集中するなか、遠く静岡や名古屋、長野などから馳せ参じた方もあり、総勢21名という盛会ぶりであった。

最初に同窓会通教支部顧問 村串仁三郎先生の開会あいさつ、続いて各会員の自己紹介を兼ねた近況報告などが行われた。その後、経済学部同窓会常任幹事 嶋崇様による「法政大学通信教育の偉大なる歴史」のショート・スピーチを頂戴し、改めて参加者一同、「法政通教」の素晴らしさを再認識した一幕であった。おそらく全員が「法政通教で学んでよかった!」との感慨を抱いたのではないだろうか。

最後に、「今後の通教支部の在り方」について討論が行われ、3月卒業式での入会勧誘、8月の定例会、経済学部同窓会への積極的参加などが話し合われた。来年は同窓会通教支部設立10周年を記念して、夏に大集会を開こうとの提案があった。

集会終了後は市ヶ谷の居酒屋「さくら水産」に場所を移し、一献酌み交わしながら久々の再会を喜び、楽しい懇親会となった。午後7時半、名残を惜しみながらも、来年の再会を約し散会となった。

参加者は次の通り。青野年志、及川勝敏、大川成一、大竹久子、興津公三、川上良一、木村清司、小須田憲昭、鹿野幸作、澤村實、鈴木恵子、塚原茂延、平川忠勝、平谷文子、福王子武雄、古谷昇、宮川晃、

望月徹夫、矢田義徳(以上通教卒) その他村串仁三郎、嶋崇。  
(2008年卒 古谷 昇記)

## 参加者の声

### 大川成一

2017年8月27日(日)にポアソナード・タワー25階で経済学部通教支部同窓会が20人を超える参加者で開催されました。

村串仁三郎先生から通教支部の経過や現状について詳細なお話がありました。また、嶋崇同窓会常任幹事から「法政大学の通信教育の偉大なる歴史」という演題での小講演があり、日本で最初の大学通信教育であり卒業する割合が少ないということでした。

通教での勉学は面接授業を除けば独学が基本なので、どうしても「横とのつながり」が希薄になりがちです。しかし、卒業後に交流が築けることが同窓会の役割の一つと感じています。

率直に言って、活発化しているとは言い難い現状認識ということを前提にしての議論でもありました。意見交換を進める中で、古谷新会長を選出し従来どおりの活動スタイルを堅持するということになりました。

終了後での市ヶ谷での居酒屋での懇親会でも多くの参加があり、打ち解けた雰囲気の中で語り合いあうことができました。

### 及川勝敏

8月27日ポアソナードタワー25階の校友談話室に於いて、経済学部通信教育支部の総会が開催されました。卒業以来、市ヶ谷キャンパスを訪ねる機会も無くなっていたので、「懐かしい校舎の空気を感じる事」、「同窓の諸先輩方とお話をする事」等々、様々な期待を胸に参加しました。村串先生の議事進行のもと、会の冒頭ではあまり知る事のなかった通信教育部の歴史など興味深いお話を聞くことが出来ました。

その後、今後の同窓会運営にあたっての意見交換が行われ、「新規入会会員が増えない」、「運営する一部の役員に負荷が集中している」、「新たな役員希望者がいない」など様々な問題点が浮き彫りになり、二次会の懇親会まで議論は続きました。当初、同窓会に対して堅いイメージを持っていましたが、実際に参加してみて、気軽にたくさんの同窓生の皆さんと話すことが出来ました。世代を超えた付き合いが出来るのも、同窓会の大きな魅力であると思います。

また、卒業された後も、様々なことに興味を持ち勉強を続けているという話を聞き、私自身とても刺激を受けました。共に「卒業」という目標に向けて努力し達成できたという誇りはいつまでも心の中に残っています。こうして大学

のつながりで集まれる事はとても素晴らしい事だと思いました。在学中は、支部会の方々との付き合いで助けられましたので、組織のありがたみは肌身で感じています。同窓会組織は学校に戻ってくる「拠りどころ」であると思うので、多数の同窓生が、何の気兼ねも無く気軽に集えるような組織であり続けるよう、微力ではありますが、今後は私も何かしら力添えして盛り上げたいと考えています。（通信教育課程経済学部商業学科2012年卒）

### 平谷文子

お誘いを受けて参加いたしました。

通教の歴史のお話は、創設のことは詳しいことは、知らなかったもので、興味をもちました。村串先生、参加された方々からたくさんのお話、元気の源となりました。終了後、居酒屋でも、お話は新鮮で、脳に活力をいただいた同窓会でした。村串先生、役員の皆様ありがとうございました。（平谷さんは、同窓会には入っていませんでしたが、これを機会に入会していただきました。編集子）

### 小須田憲昭

拝啓 初秋の候、村串先生にはお元気でご活躍のこととお喜び申し上げます。

先日の法政通教同窓会にお誘いいただき、急ですが、参加させていただきました。前回の同窓会でも、いろいろなお話を吸収できました。今回は、世間で活躍されている、または、ご活躍されて余生を生活されている諸先輩方にお会いできよい刺激をいただきました。大学でのゼミ活動はほぼなかったですが、卒業後も先生から声をかけていただき、第二のゼミ活動と心がけて参加させていただいております。

二次会での居酒屋でお話をうかがい、先生の活動にも興味を持たせていただきました。本日早速、紹介を受けた先生の国立公園と自然保護の著作を注文しに行ってきました。また、先日は、先生の『孫育てイギリス留学日記』を送っていただきありがとうございます。早速、少しずつ読ませていただいております。

今後とも、是非良きご指導をよろしく申し上げます。平成29年9月5日

### 資料 同窓会通信教育部卒業生支部の設立趣旨書

2008年7月6日

法政大学経済学部同窓会通信教育部の卒業生有志が話し合っ、同窓会通信教育部卒業生支部を設立することになった。

私達は、経済学部同窓会通信教育部卒業生は、次のような活動を考えています。

1 ばらばらになっている通信教育部卒業生を組織化して、相互

の交流と親睦をはかり、通信教育部卒業生同士のよしみを持って、お互いに助け合う。

- 2 法政大学卒業生として法政大学ひいては経済学部、経済学部通信部の発展ために幾許かの貢献をする。
- 3 経済学部同窓会が企画するさまざまな活動に積極的に参加する。とくに経済学部同窓会ホームページを通じて交流をはかり、お互いを高めあう。
- 4 多くの経済学部通信教育部卒業生を経済学部同窓会に組織し、同窓会通信教育部卒業生支部を強化し、同窓会の目的をはかっていく。
- 5 毎年3月の卒業式と祝賀会に有志が出席し、会員獲得の呼びかけをおこない、会員拡大をはかる。
- 6 毎年8月の通信教育部夏スクーリングの時期に、経済学部教授会の後援をえて、経済学部通信教育部卒業生のホームカミングデーを開催し、お互いに旧交を温め合い、先生方と親交を深める。
- 7 各地に支部の支部をつくって、経済学部通信教育部卒業生の交流をはかる。

## 経済学部同窓会通信教育部卒業生支部の規約

- 1 本会は、趣意書にある活動をおこなうことを目的とする。
- 2 役員として、会長1名、副会長数名、幹事10数名、会計1名、顧問を置く。
- 3 適時役員会を開く。とくに在京役員会を重視する。
- 4 会費の徴収はとくに規定しない。
- 5 支部会員の交流は、eメールを通じておこなう。
- 6 総会は、8月のホームカミングデーにおこなうようにする。
- 7 本会は、地方会員が多いので、会の運営はボランティア精神をもって、穏やかにおこなう。(2008年7月6日制定)